

取引先を装う詐欺メールに注意！

海外と取引がある県内企業(A社)での発生事例

- ① A社が取引先の海外企業(B社)に対し、商品を発注する。
- ② B社から「注文を受ける」とのメール返信がある。
メールにはいつも通り「振込先」や「金額」が書かれた注文書(B社定型)が添付されていた。
- ③ 数日後、B社から「振り込み先を中国の口座に変更してほしい」との「**振込先変更メール**」が送られてくる。
メールには、変更後の振込先が記載された**注文書(B社定型)**が添付されていた。
- ④ A社の担当者は、変更後の振込先に代金を振り込んだ。
※ 中国の銀行が不審な取引として保留したため被害は発生せず。
- ⑤ B社から「中国の銀行が使えなくなっていた。しばらくすれば返金されると思う。カンボジアの銀行に送金し直して欲しい」とのメールが送られてくる。
- ⑥ 不審に思ったA社の担当者が「**振込先変更メール**」を確認したところ、送信元がB社メールアドレスではなく、**酷似したメールアドレス(※)**から送信されたものだった。

(※) 正規メールアドレス seller@abcdef.co.kr

→ 偽メールアドレス例 1 seller@abcdef.kr.com

→ 偽メールアドレス例 2 saller@ abcdef.co.kr

だまされないためのポイント

- メールをよく確認する！
「口座が変わった」「緊急に送金してもらいたい」などお金を振り込ませるメールは要注意！必ず電話で確認する。
- 添付ファイルを安易に開かない！
添付ファイルにはウイルスが仕込まれている可能性があります。
- OSやソフト、ウイルス対策ソフトを最新の状態にする！

参考となる情報が掲載されています

「標的型攻撃メールの例と見分け方」(IPA情報処理推進機構)

<https://www.ipa.go.jp/files/00043331.pdf>